

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立ケアハウス港南の郷						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	6	5	1	1	0	1	0	7
	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		備 考	
正規・非正規職員の退職者数	0	0						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
3月末日入居者数(人)	33	34				
新規入所者数(人)	2	2				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	119,302,312	124,693,078	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	119,221,859	124,584,207				
	利用料金収入	0					
	その他収入	80,453	108,871				
	支出	118,952,362	117,865,724	0	0	0	
	職員人件費	27,483,061	32,243,065				
	光熱水費	34,845,658	29,995,492				
	修繕費	9,358,456	7,077,030				
	事業運営費	14,328,110	16,177,992				
	施設管理経費	32,930,828	32,358,604				
	その他経費	6,249	13,541				
	差引収支額	349,950	6,827,354	0	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	125,218,000	126,972,117				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点					72 / 90

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	入居者間での意見交換の場である定例会を始めとして、福祉サービス第三者評価・入居者アンケート・ご意見箱（所長宛）、食事ご意見箱等から、入居者のニーズをとらえ業務改善や法人内調整を行うことで、入居者の生活の質が向上するよう対応しました。コロナ禍で開催を中止していた地域交流イベントであるシーサイドギャラリーも開催することができ、地域住民との合同防災訓練にもブース担当として参加し、地域との交流を再開する事ができました。今後も地域と共に、港区の高齢者が「安全・安心」に施設を利用できるように努めます。
区（施設所管課）による評価	施設の維持管理については、仕様書に従い実施できています。また、修繕が必要な際は、迅速に区に報告と対応を行っており、事業運営においては、職員がさまざまな研修へ参加するなど、サービスの質向上に努めています。安全管理・危機管理では、入居者の施設での安全・安心な生活のため日常安全点検等実施しています。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行した令和5年5月8日以降は、中止していたイベントを再開するなど、入居者の地域交流を促す支援が行えています。今度も入居者が安全・安心に過ごせる施設であるようハード面・ソフト面から支援を行っていくよう助言・指導していきます。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）